

CONTENTS

- 2 専門家派遣 / HP紹介 / 春の叙勲・褒章
- 3 経営に効くビジネスサプリ
- 4 未来を応援 / マイナ保険証

第728号

令和6年 6月1日発行
(毎月1日発行 発行部数19,550部)

元氣企業紹介

馬瀬の魅力発信のため
フィールドアスレチックに
カフェを併設！

MLH合同会社

フランスから馬瀬に移住して
事業開始

私は飛驒の魅力に惹かれて下呂市馬瀬地区に移住したフランス人で、アスレチック／沢のぼり体験施設を運営しています。2008年から「高所ロープコースアクティビティ」の立ち上げに関わり、2021年にMLH合同会社を設立し代表に就任。私も含め現在、高山市・馬瀬・オーストラリア出身の4人のスタッフがいいます。



▲代表とスタッフ一同

商工会からの支援受けて事業展開

当社設立の際、商工会へ相談したところ、下呂市内商工会主催の創業セミナー参加を勧められました。創業について学ぶことができ、市の創

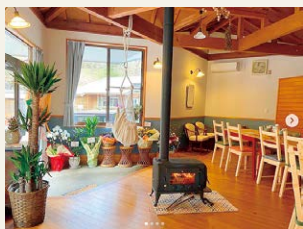
業補助金も受けることができました。外国からの移住者である私にとっては、商工会から創業支援制度や地域のことを教えていただけたことは本当に助かりました。

2023年には「原油高・物価高騰対策事業者応援補助金（新たなチャレンジ）」の申請支援を頂いたことで補助金が採択され、念願であったカフェ営業に向けて準備ができました。

レストラン＆カフェ事業への新たな挑戦

カフェは「レストラン＆カフェ SotoのUchi」と名付けました。馬瀬は寒冷地のため冬季はアスレチック営業もできず、観光で訪れる人もほとんどいなくなりますが、フレンチデイナー等を提供し冬季にも立ち寄っていただける場所を目指しています。夏季には、アウトドアアクティビティ利用者だけでなく馬瀬への観光や釣り客にも利用いただけます。

メニューは軽食がメインで、トースティ（ホットサンド）をはじめ手作りを



▲店内の様子



▲店舗外観（ペット同伴可能なテラス席あり）



▲レギュラーメニューのトースティ

デザート、週替わりで味わえるフランスの家庭料理等があります。カフェ営業を開始するにあたり馬瀬出身のスタッフ1名を採用し雇用創出にもつながりました。

馬瀬の人々と自然を国内外に知らせたい

馬瀬の人々のやさしさと美しい自然をより多くの方に知っていただけるよう情報発信を行い、国内外問わず多くの方が馬瀬を訪れる機会をもっと作っていききたいと思っています。

(所属 下呂市馬瀬商工会)

MLH合同会社

グエン・デュコリ

下呂市馬瀬西村1452

050-3695-1609

9:00～17:00

水曜日

▲Instagram
SotoのUchi▲ホームページ
MLH

マウンテンライフ飛驒



発行所・発行人

岐阜県商工会連合会

岐阜市藪田南5丁目14の53 OKBふれあい会館9F

商工ニュース 読者アンケート

ご協力ください。ご意見ご要望もこちらまで。



専門家派遣事業を ご活用ください

経営環境がめまぐるしく変わる中、安定した事業継続のためには、経営基盤の強化を進めていくことが大切です。

岐阜県下の商工会では、地域経済を支える小規模事業者等の方々の経営力向上を目的とした専門家派遣事業を実施しています。

様々な業種の多様な経営課題に対して、豊富な経験と実績を持つ専門家を一定期間派遣してアドバイスいたしますので、ぜひご活用ください。

■事業の特色

①多様な経営課題に対応
広告宣伝方法の見直し、ITシステムの利活用、資金繰りや職場環境の改善、人手不足への対策から、事業計画、事業承継計画、BCPの策定に至るまで、皆様の多様な経営課題に幅広く対応します。

②個別の相談対応
専門家を皆様の会社に派遣します。セミナーなどの集団研修とは違って、マンツーマンでご相談に応じます。会社ごとの事情やケースに応じて、きめ細やかなアドバイスを受けることができます。

③多彩な専門家が対応
経営課題に応じて、100名近くの中から、適切な専門家を選定します。専門家には、支援実績が豊富な

公認会計士、社会保険労務士、中小企業診断士など国家資格を有した方や、大企業などで生産管理の部門責任者として会社経営に携わった経験を持つ方などがいます。皆様の様々な課題に専門的知見を活かして対応します。

④相談料は原則、無料

初回の相談費用は商工会が負担、支援テーマによっては3回まで全額無料です。もちろん、ご相談の内容や経営上の秘密は厳守します。

■ご利用にあたって

専門家派遣の利用には、お近くの商工会へお申し込みください。

なお、この事業は、アドバイスの限定したもので、補助金申請書などの書類作成や広告宣伝チラシなど成果物の作成、実際の各種手続き業務などには対応できかねますので、あらかじめご了承ください。

ご相談の一例

- ☐ 売上を伸ばす具体的な改善策を考えたい
- ☐ ウェブサイトやSNSを活用したい・ネットショップを開設したい
- ☐ パッケージやメニュー表を見直したい
- ☐ ITを導入して業務を効率化したい
- ☐ 特許や商標について知りたい
- ☐ 後継者に事業を譲りたい
- ☐ BCP(事業継続計画)をつくりたい
- ☐ 就業規則を見直したい

商工会が行った支援事例をHPで紹介しています！

県連合会および県内商工会のHPでは、補助金・助成金等の案内や各種セミナー・展示会・商談会の開催情報等、事業者の皆様の経営に役立つ様々な情報を発信しています。今回は、その中のコンテンツのひとつである「支援事例」についてご紹介いたします。

県連合会HPでは、支援事例を定期的（月に2回程度）に更新しています。県内の経営指導員が実際に支援を行った事例について、「どのような支援を行ったか、活用した施策は何か」「どのような成果があったのか」を紹介しています。業種や従業員規模がわかるように掲載していますので、ご自身の事業に近い事例は支援内容や施策の活用などを参考にされてはいかがでしょうか。この支援事例のページは、HPのトップバナーからすぐに表示することができますので、ぜひご覧ください。



瑞宝単光章



木村 清貴氏

海津市商工会会員
(消防功労)

瑞宝単光章



河口 安男氏

柳津町商工会会員
(消防功労)

瑞宝双光章



荒井 庄司氏

郡上市商工会元理事
(社会福祉功労)

春の
叙勲・褒章受章者
令和六年春の叙勲・褒章受章者が発表され、次の方（商工会から報告のあった方）が受章されました。
おめでとうございます。

経営に効く ビジネスサプリ

羽根田先生には、全12回シリーズで会員事業者様のための経営に役立つ情報をトピックスとして、連載していただきます。

第2回

意外と知らないものづくり補助金

～ICT施工の普及および建設業での
ものづくり補助金の活用～

羽根田マネジメントオフィス株式会社

羽根田中小企業診断士事務所・行政書士羽根田事務所

中小企業診断士・行政書士 羽根田 隆弘



コストアップが続く中では、前回紹介した値上交渉も不可欠ですが、生産性向上の努力も必要です。そこで今回は、生産性向上のための設備投資に活用できる「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（以下、「ものづくり補助金」）について紹介します。

ものづくり補助金は、中小・小規模事業者が、生産性の向上を目的に、試作品等の開発や生産プロセス等の改善に取り組むために必要となる設備投資に対して、業種に関係なく支援するための補助金です。投資内容や目的に応じて申請枠があり、その申請枠毎に補助内容や要件が定められています。

ここで突然ですが、建設業や運送業の2024年問題対策はお済みでしょうか。実はそのための設備投資でも、ものづくり補助金が役に立ちます。この補助金は略して「ものづくり補助金」と呼ばれるため、製造業のみが利用できる補助金と思われがちですが、実は先述の通り業種に関わらず利用可能です。

例えば建設業では、測量、設計、施工にICT技術を用い、誰でも設計通りの施工ができるICT施工の普及が国土交通省により進められ、中小企業でも対応が迫られています。そのためにはICT施工対応の設備が必要であり、国土交通省もICT建機等の設備投資について、ものづくり補助金で対応できる旨を公表しています。また運送業でも、配送ルート最適化システム等、配送全体の生産性を上げる投資等で採択実績があります。

ここで、社員12人の建設業者が、ものづくり補助金を利用して行った設備投資の事例を紹介します。同社は下請で道路、河川、土地造成工事等を請け負う一般土木建築業者であり、取引先からの信頼も厚く安定した経営基盤を築いていました。ところが取引先から突如ICT施工への対応を求められ、多額の設備投資が必要となり悩んでいた中、金融機関経由で専門家に相談し、ものづくり補助金が利用できることを知りました。そこでICT施工導入後の効果を数値で詳細に示して事業計画にまとめた結果、無事に採択され、競業他社に比べていち早くICT施工に対応することができました。今では生産性向上やノウハウ蓄積により、取引先からの受注が更に増えるに至っています。

事例のように、補助金を活用すれば、資金面のハードルは確実に下がります。まずは公募要領を読み解き、自社や検討している設備が対象となるか確認することをお勧めします。ご判断に迷う場合は商工会等の相談窓口が力になりますので是非ご相談ください。

1:ICT土工に必要な設備投資に利用できる補助金俯瞰図

国土交通省



未来を応援

Cafe Shiranui

キャンプもできる！
自然に佇むパン屋併設カフェ

▲こだわりの窯焼きピザ

■ コロナ禍からの事業再構築

～キャンプ施設整備とパン製造販売事業開始～

Cafe Shiranuiは、関市の武儀地区下之保の山に囲まれた所にあるキャンプ場とパン屋併設の古民家Cafeです。「ゆったり、ゆったり、田舎で過ごす最幸の時間がここにある。」をモットーに田舎ならではの自然の中でゆったりとした雰囲気が味わえる場所です。

支援のきっかけは、持続化補助金を利用してキャンプ場を整備し、後にパン屋を開業したいとの事業意欲を聞き取りしたことからはじまりました。

相談に対して当会は、当該事業が事業再構築補助金に該当するため、連合会の専門家派遣制度を活用して同補助金の申請を提案しました。

結果的に、当会の支援で事業再構築補助金の採択を受け、パン事業への分野開拓に挑戦されました。コロナ禍により休業を余儀なくされましたが、事業再開に際して、高まるテイクアウト需要やキャンプ需要に対応した新事業展開を模索され、同補助金を活用した設備導入によって、新たにパン製造販売事業の展開が叶いました。



▲カフェ入口外観

今まで日曜のみの営業から一転、営業日数と営業時間を増やし、ベーカリーカフェとして新装開店されました。

新たなパン製造販売事業の開始と並行して、SNSを活用し積極的な情報発信も始められました。関市内外の多くのお客さまから認知されるようになり、ベーカリーカフェのみならず、キャンプ場の利用者も増加しています。キャンプ場は現在2か月先まで予約が埋まるほどです。

■ 魅力あふれる事業展開

● カフェ

食材と手作りにこだわり、窯で焼いた自家製ピザ、手作りランチ、手淹れコーヒー、デザートを提供されています。窯焼きのピザやハンバーグがおすすめです。

● パン屋

菓子パンや総菜パンなど種類豊富でリーズナブルな価格で購入ができます。他にはないようなパンもあるので是非足を運んでみてください。Instagramにてパンの紹介や営業日の情報更新をしていますので、是非チェックしてみてください。

● キャンプ場

「ちょっと変わった小っちゃなキャンプ場」をコンセプトに、完全予約制による貸し切りキャンプ場として営業されています。ソロキャンプで自由な時間を過ごしてもよし、家族でのんびり過ごしてもよし、グループで和気あいあいと楽しむのもよし、自由な空間で自分たちだけの空間を作り上げることが出来ます。



▲キャンプ場レイアウト

■ 今後に向けて

新たな取り組みに挑戦するきっかけとして、持続化補助金の申請を機に商工会に入会されたCafe Shiranuiさんは、補助金の採択を得たことで、キャンプ施設の整備とパン事業への分野開拓による販路拡大・コロナ禍からの事業再構築が実現しました。現在は、専門家からの指導も受けて、チラシのブラッシュアップを行うなど、積極的に商工会の支援を活用されています。今後、キャンプのハイシーズンを前にして、さらなる魅力づくりや情報発信の強化を模索されており、今後も商工会は様々な支援メニューにより応援していきます。（関市東商工会）

Cafe Shiranui

〒501-3521
関市下之保3884

🕒 9:30～17:00

※窯焼き料理は土・日要予約

🌿 月・火・金



HP



Instagram

健康保険証は2024年12月2日に廃止

医療機関の受診は
マイナ保険証で

※マイナ保険証…マイナナンバーカードに保険証利用の登録をしたもの



全国健康保険協会 岐阜支部

協会けんぽ

〒500-8667 岐阜市橋本町2-8濃飛ニッセイビル14階

☎058-255-5155 (代表)

マイナ保険証のメリットの詳細は、
右の二次元バーコードからご確認ください。

厚生労働省作成動画 ▶ 【何が便利になるの？メリット編】



マイナ保険証

始まっています！

